

## ..... 編集後記 .....

◆前号に引き続き今月号も、昨年的一大イベント、第1回「地質の日」の特集でお送りしています。前号では、北海道から南下して関東地域までの各所で盛大に開催された様々な行事の模様をお伝えしました。今月号ではさらに西進して、全国をカバーするように各所でのイベント情報を報告していきます。

◆博物館では、年間を通じ一般市民への普及・啓蒙活動として様々な観察会や展示会を開催していますが、地質の日にあわせて多くの記念行事が行われました。今月号では、関東では神奈川県立生命の星・地球博物館(平田氏ほか)、北陸では石油の世界館(中島氏ほか)、中部では中津川市鉱物博物館(木村氏)、名古屋大学博物館(足立氏)、名古屋市科学館(緒方氏ほか)、近畿では、みなくち子どもの森自然館(小西氏)、大阪市立自然史博物館(中条氏)、兵庫県立人と自然の博物館(先山氏)、きしわだ自然資料館(渡辺氏)、中国では三瓶自然館(中村氏)、四国では徳島県立博物館(中尾氏・辻野氏)、九州では北九州市立自然史・歴史博物館(太田氏)、雲仙岳災害記念館(吉田氏)、阿蘇火山博物館(池辺氏)等から、それぞれの記念行事や観察会・講座等の模様を報告していただきました。いずれも地元の地質や産業の特性を生かしたイベントや、楽しい化石レプリカづくり・石割等を行っており、一般市民の地質に対する理解を深めようとする意気込みが伝わります。

◆大学等でも積極的にイベントを企画・参加しています。大河内氏は実行委員会形式で学生の自主ゼミを取り込むことの有効性を新潟大学の例から指摘しています。また、博物館・学会・NPO法人との共催で記念事業が開催された所も多く、さらに裾野を広

げ、科学館・マスコミ・教員・市民団体等が連携して普及行事を行った事例も紹介されています(緒方氏ほか)。また、京都大学でも小学生から一般までの幅広い参加者に向けての普及記念イベントが行われ(北川氏ほか)、このように学会等と博物館との連携が両者にとって意義深いという中条氏の指摘は、今後の活動を考える上で参考になります。

◆関係者の連携を図ってジオパーク認証を目指す記念イベントとして山陰海岸の見学会が行なわれました(三田村氏)が、活動の成果でしょう、昨年末に日本ジオパークの1つとして認められました。一方、島根県版ジオサイト地質百選を選定してジオパークへの登録を目指す活動の一環として、シンポジウムが開催されました(島根県地質百選選定委員会)。また、日本でのジオパークの第1号に認定された島原半島ではジオツアーが開催されたとのこと、これらの活動は地質のおもしろさの発見や地域活性化に役立つことでしょう。今後このようなジオパークを目指す活動が活発化することを望みたいと思います。

◆地質の日に深く関係するライマンに関して、その門弟の一人島田純一に贈られた洋書のエピソードを、金氏・浜崎氏が詳しく伝えてくださいました。人と人の繋がり不思議さを実感させられます。また、最後に藤本氏に日本地質学会としての地質の日の取り組みについて語っていただきました。

◆2号にわたり、博物館・大学・学会等で開催された「地質の日」イベントを紹介しました。地域特性を生かした一般市民への普及啓蒙活動に加え、全国的な広報活動を通じて「地質」の市民権を得る活動となることを期待したいと思います。(金井 豊)

### 地質ニュース編集委員会

委員長：金井 豊

事務局委員：宮内 涉

委員：藤原 治・杉原光彦・高木哲一・森尻理恵・七山 太・酒井 彰・高橋裕平

連絡先：地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3754 Fax. 029-861-3746

E-mail: g-news@m.aist.go.jp

地質ニュース	第654号	2009年	2月号
	定価¥785(本体価格¥748) 千実費		
2009年2月1日	発行		
編集	産業技術総合研究所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者 林 光生		
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073		
	Tel.(03)3265-0951 Fax.(03)3265-0952		
	http://www.jitsugyo-koho.co.jp		
	E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		



表紙右下のロゴについて：地質調査総合センターは、国際惑星地球年(IYPE)に賛同し、活動を支援しています。

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。

●地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

©2009 Geological Survey of Japan